

令和 8 年 1 月 2 7 日
教 育 指 導 課

令和 7 年度文部科学大臣優秀教職員表彰受賞者の決定について

「文部科学大臣優秀教職員表彰」実施要綱（平成18年9月20日文部科学大臣裁定）に基づき、学校教育の振興に関し、特に功績顕著な成果を上げた教職員として、2名の受賞者が決定されたので、報告する。

1 受賞者

N o 1	
所属・職名・氏名	松沢中学校 主幹教諭 栃谷 佳宏
表彰種別	学習指導における特に顕著な成果
功績概要	校内において、学年主任と進路指導主任を兼任し、細やかな学年経営を推進しながら、区のキャリア・未来デザイン教育の推進のため全体計画、年間指の見直し、生徒の人間形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力の育成に貢献した。 また、国語科教諭として区教育研究会の研究活動に尽力し区内国語科教員の授業改善に寄与した。

N o 2	
所属・職名・氏名	砧中学校 主任養護教諭 三浦 里奈
表彰種別	学校体育や学校保健、学校給食における特に顕著な成果
功績概要	不登校生徒に対して個別化されたアプローチをとり、クラスに復帰するための様々な取り組みを行った。その過程で保護者と協力し、個室登校の促進から個別学習、小集団学習へとつなげて、担任、校内支援主任（特別支援コーディネーター）と連携しながら、学校での居場所づくりに尽力した。主任養護教諭として不登校生徒の登校再開に向けた体制を整備することで、校内の支援体制の充実に寄与した。

2 表彰式

令和 8 年 1 月 2 0 日 (火) 午後 2 時 0 0 分～午後 4 時 0 0 分まで
東京大学・安田講堂（東京都文京区本郷 7－3－1）

《参考》

「文部科学大臣優秀教職員表彰」実施要綱

第2条 教職員に対する表彰（次項の若手教職員等奨励賞及び次条第2項の社会に開かれた教育実践奨励賞を除く。）は、全国の国立学校、公立学校又は私立学校（大学及び高等専門学校を除く。以下同じ。）の教職員であって、次に掲げる要件を満たす者に対して行う。

一 現に教職員であること。

二 推薦年度の4月1日時点において、教職員経験10年以上かつ原則として50歳未満の者であること（ただし、当面の期間は、特別の事情がある場合にはこの限りでない）。

三 原則として、既に推薦者による表彰を受けていること。表彰制度が設けられていない場合は、表彰に準じる評価を得ていること。

四 勤務実績良好かつ過去に懲戒処分等の罰を受けていない者であること。